

愛媛大学・愛媛県とコラボした地域づくりワークショップ (H30.11.12)

- 愛媛県庁・愛媛大学・内閣府が連携し、愛媛大学及び愛媛県内自治体職員を対象にした地域づくりワークショップを開催(6月25日にセミナー実施)。愛媛県内の①空き家問題、②地域公共交通を解決するための議論が行われた。
- OWSでは、まず愛媛県内の空き家及び地域公共交通の専門家から現状と課題の講義を受講。その上で、学生と自治体職員がグループを作り、課題を解決するためのプロジェクトの考案と、推進する上で発生した課題を解決するために提案募集方式の活用を検討。学生の新鮮な発想と自治体職員の現場感覚を混ぜ合わせて活発な議論が行われた。

<WSで提案された主なプロジェクト>

◆空き家対策

- ・学生による空き家改修プロジェクト：授業の一環で、学生が空き家改修に参加できる仕組みを構築できないか
- ・POTSU POTSU HOTELプロジェクト：空き家をリノベーションし、つなぎ合わせて町全体を大きなホテルに

◆地域公共交通対策

- ・地域まるっとお助けサービスプロジェクト：有償ボランティアができる事業と並行して交通空白地帯での運送サービスを展開し、一体的に地域を支えることはできないか

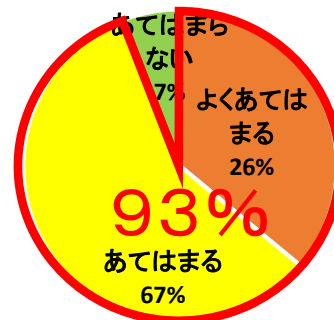
ワークショップ概要

- ◆日時：平成30年11月12日(月) 13:00~17:00
- ◆場所：愛媛大学城北キャンパス共通講義棟
- ◆参加者：約60名(自治体職員、愛媛大学学生等)
- ◆講師：内閣府参事官補佐 舘澤 清城 調査員 吉田 和弘
愛媛県不動産コンサルティング協会理事長 竹内 学氏
久万高原町総務課 伊藤 敦志氏



ワークショップに参加した方の意見

- 公務員志望なので、自治体の職員の方と関わり、実際にどのように地域づくりするのかを体験でき、刺激を受けた(学生)
- 自治体職員だけだと意見が偏るが、学生の積極的な発言と柔軟な発想が新鮮だった(自治体)



アンケート:セミナーに満足したか



ワークショップの状況